

**ivanti**

# デバイスをWindows11に移行すべき3つの理由

## 目次

エグゼクティブサマリー	2
はじめに	3
Windows 11導入の主な成果	3
理由 1: 強化されたセキュリティ	4
理由 2: 簡単なITの展開と管理	5
理由 3: ユーザーエクスペリエンスの向上	6
まとめ	7
Ivantiについて	8

## エグゼクティブサマリー:

新しいメジャーなOSが市場に導入されるたびに、CIOは同じジレンマに直面します。デバイスを移行すべきか？ 移行するとして、今やるべきか？

リリースのたびに簡単に解決できないこの問題は、リスクの高い賭けです。そして、世界中のCIOは、Windows 11オペレーティングシステムの導入により、再びこの問題に直面しようとしています。

そこでIvantiはさまざまな取材を行い、Windows 11に移行すべき理由を探りました。

上位3つの理由は以下の通りです。

1. 強化されたセキュリティ
2. 簡単なITの展開と管理
3. ユーザーエクスペリエンスの向上

このレポートは、これら3つの分野をそれぞれ詳細に検討したもので、意思決定プロセスに役立てていただけます。念頭に置くべき重要なことは、いつでもオペレーティングシステムを変更できるコンシューマーと違い、ビジネスユーザーはIT部門が許可しない限りWindows 11へのアップグレードはできないということです。そのため、Windows 11の導入は、事前に十分な計画を立て、必要に応じて段階的に展開する必要があります。

Ivantiをはじめ、この導入を管理・自動化できるサードパーティのソリューションがいくつかあります。Ivanti UEMポートフォリオ（オンプレミス、モバイル、クラウド）を擁するIvantiはこの分野のリーダーであり、Windows 11を完全にサポートするアップデートをリリースしました。

## はじめに

MicrosoftがWindows 10発表してから6年以上を経て、Windows 11が登場しました。Microsoft史上、最も長く待たれたオペレーティングシステムのバージョンアップの一つとなりました。これにより、Windows管理者はMicrosoftが発表した2025年10月のWindows 10サポート終了 (EOL) までに、あらかじめ準備を進めるため多くの作業が必要になるかもしれません。

さらに状況を複雑にしているのは、Windowsベースのデバイスは複合年間成長率1.9%で増加し、ノートPC市場の約75%を占め、2025年には8億5,700万台にインストールとされたと予想されていることです<sup>1</sup>。

なぜMicrosoftは、わざわざWindows11などというものを発表したのでしょうか？まず、WindowsはAppleとChromebookの両方にシェアを奪われています。コンピューティングデバイスにおけるWindowsのシェアは、2020年第2四半期の84%から2021年第2四半期では80%を切るまでに落ち込みました。また、Chromebookに対抗するためにWindows 10Xに追加されたものの、2021年5月に中止されたいくつかの機能が、Windows 11には含まれています。もう一つの理由は、セキュリティです。セキュリティホールが存在により、WindowsやAndroidデバイスは最もマルウェアの標的となりやすいためです。Windows 11が広く普及すれば、それも変わるかもしれませんが。Microsoftは、一部のPCでアップグレードができなくなるにもかかわらず、必須のセキュリティハードウェアを要件とするという大胆な一歩を踏み出したのです。これらのPC要件については、本レポートの後半で見えていきます。

## Windowsのコンピューティングデバイスにおけるシェアは 2020年第2四半期の84%から 2021年第2四半期には80%以下へ<sup>1</sup>

### Windows 11導入の主な成果

組織的な観点から、Windows 11を導入する際に考慮すべき重要なエリアは、ITと個々の事業部門の2つです。ITの観点からは、導入による主要な成果には次のようなものがあります: 1) データ漏洩のリスク低減、2) デバイス管理の簡素化による効率性アップ、3) パスワードの廃止 (Windows Hello for Businessを利用の場合)。事業部門の観点からは、次のような成果が考えられます: 1) 複数のWindowsバージョンを使用することによる複雑性の軽減、2) リモートワークの促進、3) ユーザーエクスペリエンスの向上。どちらの観点を取るにせよ、現状維持によるリスクをはるかに上回るメリットがあります。さらに、導入により企業はIT投資をコントロールし、Everywhere Workplace (場所にとられない働き方) をより効率的に管理できるようになります。

次は、Windows11に移行すべき理由の上位3つを検討します。

## 1 理由 1: 強化されたセキュリティ

Windows 11に移行するにあたりとりわけ重要な理由は、設計によって固有のセキュリティが強化され、ゼロトラストに対応していることです。ただし、このセキュリティ強化には、TPM (Trusted Platform Module) 2.0以降、UEFI、セキュアブート機能を備えたPCが必要となります。企業への攻撃は頻繁かつ高度化し続けており、ランサムウェアは常に存在する脅威であることを考えると、これはITにとって大きな意味を持ちます。ITにとってその重要性は、他のWindows 11の機能が些細なものに思えるほどです。ここで良い情報は、過去3年ほどの間に販売されたほとんどのPCがWindows 11にアップグレードできる可能性が高いということです。一方で、Windows 11にアップグレードしたいと考えている企業にとってマイナスの情報は、Microsoftのハードウェア最低要件が、Microsoft HyperV、VMware、Oracle VM Virtual Boxなどの仮想マシンプラットフォームにも適用されるということです。

TPM (Trusted Platform Module) は、ハードウェアベースの暗号化により、Windowsの機能を使ってディスクを暗号化し、パスワードに対する攻撃を阻止することができるという機能を持っています。

その他のハードウェア要件として、PCには4GB以上のメモリと64GB以上のストレージが必要で、UEFIセキュアブートが有効であること、グラフィックカードはDirectX 12以降、WDDM 2.0ドライバに対応している必要があります。

その他、Windows 11で特筆すべきセキュリティ機能としては、ハードウェアベースの隔離、暗号化、マルウェア対策がすべてデフォルトで有効になっていることに加え、Windows Hello for Business (パスワードレスの統合)の導入手順が簡素化されていることが挙げられます。

**最近およそ3年間に  
販売されたPCのほとんどは  
Windows 11にアップグレード  
できるとされている**

## 2 理由 2: 簡単なITの展開と管理

IT管理者がOSのアップデートを継続的なプロセスとして行っていれば、アップデートをデプロイする能力が自動的に向上します。このアプローチで、管理者は少ない労力で最新の状態を維持でき、生産性への影響も少なくなります。

Windows 10とWindows 11は共存できるように設計されており、IT管理者は使い慣れた同じツールとプロセスを使って両方のOSを管理することができます。IT管理者がWindows 10の導入時にコアワークロード用に使用しているツールは、Windows 11でも使用することができます。また、管理者はWindows 10と同様に、エンドポイントの分析、アプリケーションの互換性の判断、Windows 11展開の管理を行うことができます。さらに、Windows 10では2回あった機能アップデートが年に1回に減らされ、アップデートにかかる時間や労力、トラブルを減らすことができます。

企業は、Microsoft Endpoint Manager、Windows Update for Business、Autopilotなど既存のMicrosoftのエンタープライズ管理ツールをWindows 11の導入および管理に使用することができます。Windows 11用の新しいツールは発表されていません。また、サポートされているバージョンのWindows 10を使用している場合は、Ivanti Endpoint ManagerやIvanti Neurons for UEMなどのサードパーティ製ツールを使用して、対象のPCをWindows 11に直接移行することも可能です。



## Windows Autopilot

### 重要な注意点:

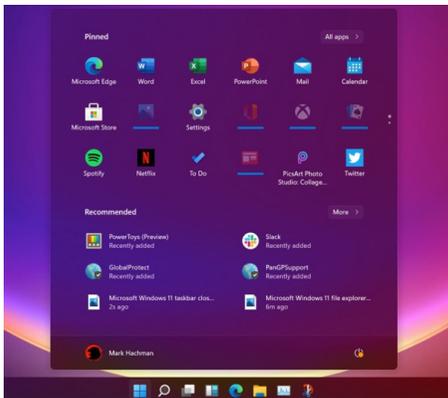
IT管理者は、Windows 11を効果的に企業全体に展開するために、ユーザーの準備ができているかという点を見落とさないようにしましょう。Windows 11はおなじみのデザインを踏襲していますが、全体のユーザーインターフェースにはいくつかの改良が行われています。それが、移行すべき3つ目の理由につながっています。

### 3 理由3: ユーザーエクスペリエンスの向上

エンドユーザーには、Windows11のインターフェイスと全体的なデザインが大幅に改善されていることが間違いなくわかるでしょう。すべての改良点の詳細については本レポートでは触れませんが、注目すべき点をいくつか挙げてみましょう。

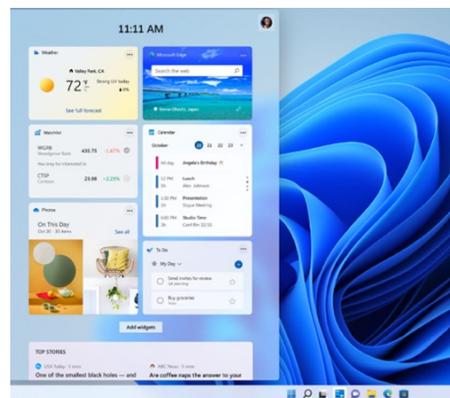
#### 新しいスタートメニュー

スタートボタンをクリックすると、スタートメニューが起動し、旧バージョンのWindowsでは左に固定されていたのと異なり、画面の下部中央のすぐ上に表示するようになりました。またサイズも小さくなり、Windows 10のスタートメニューのようにスクロールする必要がなくなりました。さらに、Windows 10のスタートメニューで画面の大きな部分を占めていた大型のタイルは、小さなアプリケーションのアイコンに変わりました。<sup>4</sup>



#### Windowsウィジェット

Windows 10にはニュースフィード、天気などいくつかのウィジェットがありました。個別に実行することはできましたが、これらのウィジェットにはホーム画面がありませんでした。Windows 11ではその点が変更され、タスクバーのウィジェットアイコン(正方形を縦に2分割したもの)をクリックすると画面左側に大きなパネルが現れ、天気、ニュース、スポーツなど、あらかじめ選択されたウィジェットが表示されます。



#### Microsoft-Teamsの統合

Everywhere Workplace(場所にとらわれない働き方)が定着し、人々がハイパーデジタルな世界への永続的な転換を受け入れる中で、Windows 11(コンシューマーバージョン)ではチャットやビデオ会議が仕事やプライベートの重要な一部であり続けるとMicrosoftは考えています。Microsoft Teamsのアイコンはタスクバーの中央に表示され、Teamsによるコラボレーション、チャット、ビデオ会議を行うことができます。ユーザーがアイコンをクリックすると、Teamsの画面が連絡先とともに開きます。ちなみに、この機能はデフォルトではオンになっていません。将来的には、TeamsのビジネスおよびエンタープライズバージョンもWindows 11に統合されることになるでしょう。

#### Amazon App StoreからAndroidアプリを起動する機能

Windows 11の今後のアップデートでは、Amazonとの提携や、Microsoftが独自に開発したタブレット端末のAndroidアプリストアにより、待望のAndroidアプリがOSに追加される予定です。現在のところ、この機能はWindows 11の実験的な「insider Preview」ビルドのユーザーのみ利用可能となっています。

#### OSアップデートは40%小規模に

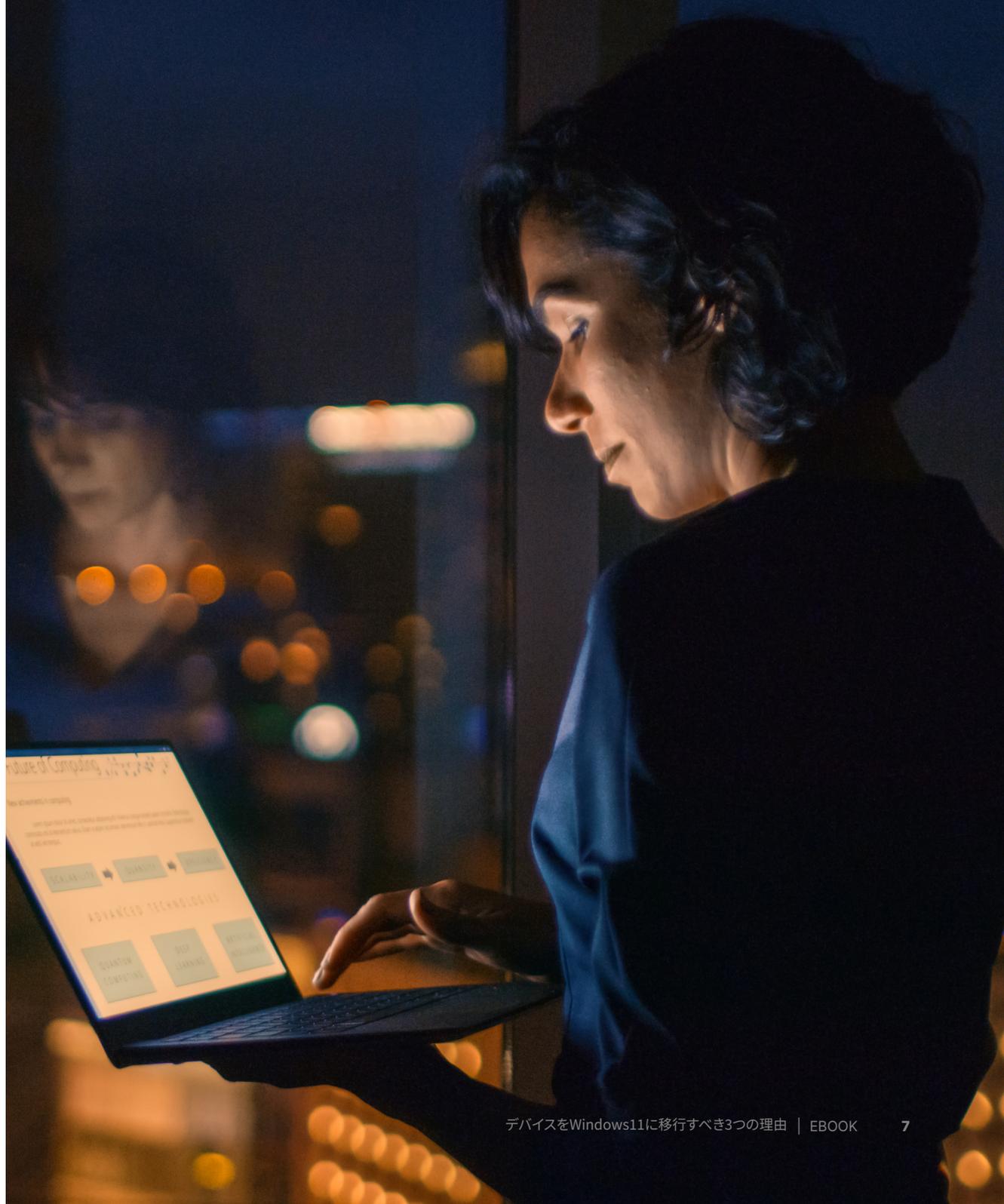
これはユーザーとIT管理者、どちらにとっても良いニュースです。小規模なアップデートはダウンタイムを削減しユーザーの生産性を向上させます。

## まとめ

組織としてセキュリティが最優先事項の一つであれば、今後12～18ヶ月のデバイスの移行計画において、Windows 11への移行を検討すべきでしょう。

Windows 11の導入の簡便さにより、この移行は容易になり、同時にシンプルなIT管理と向上したユーザーエクスペリエンスというメリットを手にすることができます。Gartnerは、「Windows 11では、OSの動作に必要なハードウェアの基準や、アップデートやアップグレードのサイクルも変更されるため、企業のOSのロードマップに影響を与える可能性がある」としています。<sup>5</sup>

あなたの会社ではWindows 11デバイスの管理のためにMicrosoftツールを使用しますか？ もしそうであれば、包括的なサードパーティのツールの活用を考慮してみるべきかもしれません。例えば、Ivantiのソリューションでは、Ivanti Endpoint Manager (オンプレミス)、Endpoint Manager-Mobile (モバイル)、および/またはIvanti Neurons for UEM (クラウドベースのソリューション) を使用して、顧客に導入前からWindows 11エンドポイントデバイスのサポートを提供することができます。詳しくはIvantiの[ウェブサイト](#)をご覧くださいか、[Ivantiのサポート](#)にご連絡ください。



## Ivantiについて

Ivanti について Ivanti は「Everywhere Workplace (場所にとらわれない働き方)」を実現します。場所にとらわれない働き方により、従業員は多種多様なデバイスでさまざまなネットワークから IT アプリケーションやデータにアクセスし、高い生産性を保つことができます。Ivanti Neurons 自動化プラットフォームは、業界をリードする統合エンドポイント管理、ゼロトラストセキュリティと、エンタープライズサービス管理のソリューションをつなぎ、デバイスの自己修復および自己保護、またエンドユーザーのセルフサービスを可能にする統合 IT プラットフォームを提供します。Fortune 100の96社を含む40,000社以上の顧客が、クラウドからエッジまで IT 資産の管理、検出、保護、サービスのために Ivanti を選択し、従業員があらゆる場所においても作業できる優れたユーザー体験を提供しています。詳細については、[www.ivanti.co.jp](http://www.ivanti.co.jp) をご参照ください。

The Ivanti logo consists of the word "ivanti" in a bold, lowercase, sans-serif font. The letter "i" is red, while the remaining letters "vanti" are black. A small registered trademark symbol (®) is located at the top right of the letter "i".A vertical decorative bar on the right side of the page, transitioning from red at the top to orange at the bottom.

[ivanti.co.jp](http://ivanti.co.jp)

+81 (0)3-6432-4180

[contact@ivanti.co.jp](mailto:contact@ivanti.co.jp)

1. Gartner Market Share Alert: Preliminary, PCs, Worldwide, 2Q21
2. Gartner Market Share Alert: Preliminary, PCs, Worldwide, 2Q21
3. Gartner Market Share Alert: Preliminary, PCs, Worldwide, 2Q21
4. Yee, Alaina, "6 New Windows 11 Features You Should Try", PC World, November 2021, <https://apple.news/A03elyBW9QtKKAJ19OpbNHw>
5. Gartner Windows11の配置と導入の準備